

## 史学委員会博物館・美術館等の組織運営に関する分科会(第24期・第5回)議事録

日時 令和元年8月1日(木)13時00分～16時05分

会場 日本学術会議 5—A(1)会議室

出席者:秋山聰、泉武夫、井手誠之輔、稲村哲也、井上洋一、小佐野重利、小津稚加子、菊地芳朗、小池寿子、木俣元一、中瀬勲、芳賀満、松田陽、三浦篤

欠席者:、佐藤宏之、真鍋真

### 議 題

#### 報告事項

- (1) 前回議事要旨の確認  
前回議事要旨の内容が確認された。
- (2) (様式3)分科会の年次報告(H30年10月1日～令和元年9月30日)提出について  
委員長より説明がなされた。

#### 審議事項

- (1) 学芸員の科学研究費補助金申請・採択の現状把握のためのアンケート調査の集計について(報告 小津委員)  
小津委員から、資料に基づいて説明がなされた:研究助成金は学芸員の安定した研究継続を保証し、研究成果の論文公表に結実させることを可能にする。専門的知識の獲得によって、研究者としてのトレーニングができた、あるいはまた、専門的知識の獲得によって展覧会による研究成果発表、来館者への還元を果たせた、と感じる学芸員が多いことも確認された。研究者としてのトレーニングが助成金で的確になされれば、展覧会を通じての社会への還元が期待できるものと思われる。他方、課題としては、客観的に助成金の「効果」を裏付けること、アンケートに依拠していない集団の考えを把握すること、に加えて、自然系学芸員からの回答が少ないことが挙げられる。なお、本報告後、委員との間で活発な質疑が行われた。
- (2) 新しい提言についての内容等の検討について  
今年度作成予定の提言内容について、様々な観点からの議論が交わされた。なお、来年度1月末の提出を予定することが確認された。

- (3) 同提言作成ワーキンググループの設置について  
今年度の提言作成のためのワーキンググループの構成員について議論が行われ、以下の通りとなった:小佐野、芳賀、木俣、秋山(以上、執行部から)、稲村、井上、小津、菊地、松田、真鍋各委員
  
- (4) その他  
今回は、12月27日(金)に東大赤門総合研究棟7階738号室を予定することが確認された。